

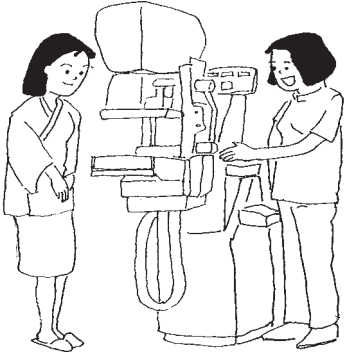
マンモグラフィによる乳がん検診導入の考えは

専門検査機関及び検診車を活用し実施していきたい

隆 ミワ子議員 乳がんの死亡者数は増加の一途をたどっている。しかし、乳がんは早期に発見、治療すれば、ほとんどが治ると言われている。

マンモグラフィ検査は、乳がんの代表的な画像診断法で、早期発見に多大な効果があると言われている。

そこで、マンモグラフィによる乳がん検診を、平成16年度から実施する考えがあるか。福祉保健部長 16年4月から



国は、従来の視触診の検診に加えて、マンモグラフィを併用する方向と聞いている。本市もこれに対応するため、医師会や検査機関との調整をし、実施の方向で進めていきたい。

なお、この検査については、高度な検査技術を持つ機関で実施した方が効率的であると考えているので、現時点では専門検査機関及び検診車といったものを活用していきたいと考えている。

野口市政の4年間 市民の“痛み”に対する認識は

時代に合った見直しで 福祉の充実に向けた取組みと考える

目黒 重夫議員 野口市政になつて4年間、市長就任時の市の財政力は、様々な指数から見て、日本の中でも有数の財政規模であったと考える。

しかし、市長は、財政が厳しいという理由に、様々な施策の削減や値上げを行ってきた。

そこで、過度な財政危機キヤンペーンと、それを背景とした値上げや市民サービス削減による、市民の“痛み”についてどう考えるか。市の認識を聞きたい。

財務部長 市では、スクラップアンドビルドを基本に、事務事業の見直しを行っている。使用料等の負担は、受益に見合った負担とするものであり、金額面でも公平性の観点からも適正と考える。

また、市民サービスの削減という点では、時代に即した新たなニーズに対応するための施策の見直しであり、市民福祉の充実に向けた取組みであったと考える。

他 支援費制度 — 利用者増に対応したサービスの確保を—

子供にとつて 親と過ごす時間は特別と考えるか

子育ての基本は家庭 親子の時間は何にも増して大切

杉村 康之議員 子供の立場に立ち、乳幼児の教育という視点から、子育て支援について聞きたい。

①子供にとつて、親と過ごす時間は特別と考えるか②約2割の保育利用児童に対して、児童福祉費の約6割が使われているが、在宅で育児をする家庭への教育的な支援を行う考えは③子供に悪影響を与えるような安易な利用を抑えるため、延長保育料を、1回ごとに清算する仕組みに変える

考えは。

子育て支援本部長 ①子育ての基本は家庭にあり、子供と親とが一緒に過ごす時間の大切さは何にも増して重く、特に、子供の年齢が低いほど大切と考える②現在準備中の子育て支援の中核施設で、遊び場の提供、話し合い、講座、仲間づくり、子育て情報・相談の体制を整備していきたい③現在、延長保育料は月額制だが、スポット方式の設定について検討している。

学校2学期制の導入 今後の対応は

学校が意向を示した場合は 条件整備をしていきたい

柴野 和夫議員 既に学校2学期制を実施している仙台市をはじめ、多くの市や町で全小中学校での導入を実施する動きがあり、モデル校方式を含めると、急速に進展しているように見える。そこで、その内容などを把握しているか。

また、導入について、今後の対応をどのように考えているか。

教育長 2学期制は、1年間を前期と後期に分け授業を実施し、夏休み等は、現在のと



▲小学校の体育の授業から

おり実施することが一般的である。なお、平成15年度は、全国で小学校は519校、中学校は310校の学校が実施している。

学校教育部長 教育課程は児童・生徒や地域の実態に応じて学校が編成するものである。よって、学校が導入する意向を示した場合は、学校の自主的な教育課程編成権を尊重しつつ、メリットやデメリット等を検討し、条件整備をしていきたい。

前川 浩子議員 学校週5日制に伴い、本市でも子供の放課後、週末の居ばしよの事業は、色々展開されている。しかし、これらは、小学生を中心とした事業が多い。中・高校生は、地域でのかかわりが余りなく、仲間同士で集う場所がないように感じる。そこで、大人へと伸びようとしている中・高校生の成長を促す核となる居ばしよについて、どのように進めていくか、市の考えを聞きたい。

生涯学習部長 10月に児童・生徒の居場所づくり検討会を開催した。この検討会は、主に、中・高校生が生き生きと過ごせる環境を整えるとともに、主体的に参加できる居場所の確保について、従来の施策を検証し、教育委員会としてのかかわりを整理し、新たな方策の展開を検討するため、はじめの第一歩として立ち上げたものである。

他府中の地下水について 特別養護老人ホーム「入所指針

中央図書館の運営 PFI手法導入に問題はないか

サービスの向上を第一に 導入を検討していきたい

山口 雅議員 市民会館・中央図書館複合施設の改築計画が明らかになった。

その中で、市は、PFI手法導入の可能性調査を行い、平成16年3月までに方針を決定するとしている。



ないと考える。そこで、中央図書館の運営にPFI手法を導入することに問題はないか、市の考えを聞きたい。

中高生の居ばしよ 市はどのように進める考えか

児童・生徒の居場所づくり検討会を 10月に発足

生涯学習部長 10月に児童・生徒の居場所づくり検討会を開催した。

この検討会は、主に、中・高校生が生き生きと過ごせる環境を整えるとともに、主体的に参加できる居場所の確保について、従来の施策を検証し、教育委員会としてのかかわりを整理し、新たな方策の展開を検討するため、はじめの第一歩として立ち上げたものである。

在宅酸素療法 助成制度の考えは

医療保険の範ちゅう 新たな助成は考えていない

服部 ひとみ議員 高齢者の医療費が定率負担になり、負担が増える中、経済的理由による治療の控えや中断が起きている。特に、呼吸器障害での在宅酸素療法患者の治療中断は深刻である。

この病気の特徴は、高齢者が多いことであり、また、この世代は年金生活者が多く所得が少ない。

都の老人医療費助成の段階的廃止など高齢者の医療費負担が増える中で、酸素濃縮装置の電気代助成など、支援策が緊急に求められている。そこで、助成制度を検討すべきと思うが、市の考えを聞きたい。

福祉保健部長 都の制度として、酸素療法に必要な機器等の購入助成制度がある。

在宅酸素療法は、基本的に医療保険の範ちゅうであり、新たな助成は考えていないが、他市の状況や動向を含めて勉強していきたい。

他府中の地下水について 特別養護老人ホーム「入所指針

サービス向上を第一に、PFIの導入を検討していきたい。 ※PFIは公共施設の建設や維持管理等に、民間の資本やノウハウ等を導入する手法